

製管工法の施工管理に関するマニュアル

《 共通項目 》

1. 工法概要

各工法別マニュアルに記載。

2. 適用範囲

各工法別マニュアルに記載。

3. 使用材料の種類と物性

各工法別マニュアルに記載。

4. 施工前現場実測

各工法とも、以下の内容は共通とする。

更生材料発注の前に、当該現場の実態を把握するべく各種実測を行う。

更生材料の誤発注を防ぐために、既設管径、管体延長等を実測すると共に、現場施工時に問題となりそうな点について検討を行う。

施工前現場実測・実施内容及び留意点

①既設管径の実測

②管体延長の実測

地上でマンホールの芯々間を実測し、マンホール寸法分を除く。

管きょ内に人が入れる場合には、実延長を実測する。

③マンホールの形状寸法確認

上、下流マンホールの径、深さ、インバート形状、流入管管径、その他施工時に支障となりそうな要因が無いかどうかの確認。

④供用中施工の場合、水深と流速を測定する。

⑤その他、現場周辺の状況を確認し、工事車両の配置等の検討を行う。

5. 施工前管きょ内調査

各工法とも、以下の内容は共通とする。

施工に先立ち管きょ内の TV カメラ調査、もしくは目視調査を行い、施工に支障のある障害物等の有無を確認し、事前処理工の必要がある場合には処理方法の検討を行う。

施工前現場実測・実施内容及び留意点
①取付管位置の計測 管口から取付管芯までの距離を実測し、本管への接続角度を記録する。
②段差、隙間、屈曲等の確認 施工適用範囲内であることを確認。適用範囲外である場合は、施工方法を検討する。 適用範囲・・・建設技術審査証明の証明範囲による。
③事前処理工の検討 事前処理を行う必要のある、モルタルの堆積、取付管の突出、鉄筋の突出、多量の浸入水等の有無を確認し、それらが認められた場合は事前処理方法等の検討を行う。

6. 事前処理工

各工法別マニュアルに記載。

7. 施工前管渠内洗浄工

各工法とも、以下の内容は共通とする。

更生工の直前に管きょ内の洗浄を充分に行い、出来形に悪影響を及ぼす可能性の有る土砂、小石、管壁破損片等を完全に除去する。

洗浄後に TV カメラまたは目視にて、管きょ内が充分に洗浄されているかどうかの確認を行い、管きょ内に施工に支障を来たしそうな異物が残留している場合は、再度管きょ内洗浄を行う。

管きょ内に人が入って作業をする場合は、流下する下水の水量や酸欠空気・硫化水素濃度等、安全面に充分注意して作業を行う。

8. 製管工

各工法別マニュアルに記載。

9. 充填材注工(裏込め注工)

各工法別マニュアルに記載。

10. 性能確認試験用テストピース採取

各工法別マニュアルに記載。

11. 出来形管理

各工法とも、以下の内容は共通とする。

外観検査及び出来形検査を行い、管きよの機能を損なうような欠陥、異常個所が無いことを確認する。

(1) 外観検査

①TV カメラもしくは目視により、更生管内の外観確認を行って、ビデオテープ等に記録する。

②人が入れる径であれば、打音検査等で充填材の充填状況を確認する。

(2) 出来形検査

①更生管内径計測

上下左右の充填材を含めた更生材の厚さが異なることから、右図に示す2箇所（更生管の内側中央高さと同幅）の仕上り内径を測定し、その検査基準は、平均内径が設計更生管径を下回らないこととする。

